

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	魅力ある歩行者優先の道づくり			款	5	項	3	目	1	事業	9	整理番号	407	
担当部課名	都市整備部土木計画課			係名	施設整備係			連絡先電話番号	3428			昨年度整理番号	414	
(平成23年度担当部課名)				都市整備部建設課						予算事業区分		投資事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	59	年度								<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 沿道利用者(商店街含む)及び周辺居住者等			根拠法令等	(1) 道路法第16条1項 (2) 電線共同溝の整備等に関する特別措置法								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○安全で快適な歩行空間の確保や震災時における電柱の倒壊防止等に視点を置き、商店街の活性化、まちの景観向上等を含めたまち全体のイメージアップを図ります。			活動指標名(式)	(1) 商店街カラー舗装化整備延長(H13からの累計) (2) 電線類地中化整備延長(H13からの累計)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○まちの景観向上や安全で快適な歩行空間を確保するため、商店街のカラー舗装化整備、区道の無電柱化整備を行う。			成果指標	※(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 商店街カラー舗装化整備率 算定式・指標の説明等 平成13年度からの累計整備延長÷平成13～22年度までの累計整備延長目標値×100 成果指標名(2) 電線類地中化整備率(都市計画道路除く) 算定式・指標の説明等 平成13年度からの累計整備延長÷平成13～22年度までの累計整備延長目標値×100								
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	①	m	3,928	4,114	4,093	4,813	4,787	5,327	99.5				
	活動指標(2)	②	m	330	1,090	720	1,090	1,090	1,090	100.0				
	成果指標(1)	③	%	98.0	100.0	99.5	100.0	100.0	100.0	100.0				
	成果指標(2)	④	%	30.3	100.0	66.1	100.0	100.0	100.0	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	86,062	514,815	468,421	348,205	242,289	210,878	23年度予算執行率%		69.6		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	85,377	514,001	467,740	347,506	241,595	210,020	特記事項 「電線類地中化事業の施行に伴う特別区道第2101-1号線電線共同溝の引込管路等の設置に関する事業委託(東京電力)は、沿道の方々との施工時間等の工事調整に時間を要したため、平成24年度に繰越しました。				
	(内)委託費	⑦	千円	69,395	495,663	462,534	334,734	230,189	195,802					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.99 0.00	2.46 0.00	2.75 0.00	3.88 0.00	4.69 0.00	2.80 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	17,669	21,943	24,530	34,532	41,741					24,920
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	103,731	536,758	492,951	382,737	284,030	235,798					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	4,673	5,532	6,160	7,320	8,865	4,839					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	8,604	0	0					0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	111,500	53,500	55,000					55,000
都からの補助金等		⑮	千円	2,346	3,420	1,504	6,157	5,517	23,985					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	2,346	3,420	121,608	59,657	60,517	78,985					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	101,385	533,338	371,343	323,080	223,513	156,813					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 407

23年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み	商店街カラー舗装化整備工事(久我山北・第一工区)	211.3
	商店街カラー舗装化整備工事(西荻南)	482.6	m	68,616
	特別区道第2101-1号線柱状型機器用支持柱設置工事	1	件	69,934
	電線類地中化事業の施行に伴う特別区道第2101-1号線電線共同溝の引込管路等の設置に関する委託協定	3	件	51,463
	その他(商店街カラー舗装補助金2件 ほか)	16,051		
(2)事業実績	商店街カラー舗装化整備については、地元商店街の要望を踏まえ、商店街振興組合久我山商店会・久我山平和会(久我山北・第一工区)と西荻東銀座会(西荻南)の整備を実施しました。無電柱化整備については、柱状型機器用支持柱設置工事が完了しました。また、電線類地中化事業の施行に伴う特別区道第2101-1号線電線共同溝の引込管路等の設置を進め、平成24年度に予算の一部を繰越した部分を除き完了しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地域の活性化が望まれる昨今、地元商店や中小企業の発展等、地域経済の活力の増進が望まれています。整備にあたっては都市景観や防災性の向上の観点から、その使用材料や施行方法等が変化しています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	商店街カラー舗装化整備については、地元商店街からの要望に基づくため、地域への緊密な調整・説明・PR等を実施することが重要と考えています。また、無電柱化整備については、歩行者や自転車の円滑な通行の確保、災害時の電柱倒壊の防止やまちの景観向上に対する期待は高いものです。反面、長期に渡る事業となることから沿道住民の工事への理解が必要と考えています。
	今後の予測	商店街カラー舗装化整備については、今後も商店街からの実施要望が多く寄せられるものと思われます。なお、今後は既施工箇所の老朽化に伴い、改修を商店街の意向を聞きながら計画的に進める必要があります。また、無電柱化整備については、今後も要望が増えるものと考えています。しかし、歩道のない、幅員の狭い道路の整備は、技術・コスト両面から困難な状況です。
評価と課題	歩行者にとって安全で安心な魅力ある道づくりを目指し、商店街のカラー舗装化や区道の無電柱化整備を進めています。カラー舗装化は商店街の要望を受け、条件を満たす路線についてご負担をいただき整備しており、商店街の雰囲気が明るくなるなどの意見をいただいています。永福町駅北口の商店街では無電柱化を実施しており、幅員約8mの道路ですが、設備を工夫した安全で快適な道づくりを行っていきます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更		<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更	
	商店街カラー舗装化整備については、安全で快適に買い物ができる歩行者空間を確保するとともに、魅力ある商店街としてイメージアップを図る事を目的として実施しており、今後は商店街振興の更なる充実のため、カラー舗装材料などの改良や無電柱化整備など他事業と連携して整備する事で、より一層の効果を上げられると考えています。あわせて、既施工箇所で耐用年数を経過し老朽化している路線から、商店街の意向を踏まえ計画的に改修を進める必要があり、その実施にあたっては、財源の確保や再整備手法等の調査・研究が必要と考えています。また、無電柱化整備については、各路線に即した計画内容等の創意工夫が必要と考えます。なお、コストの増加や工事期間の長期化が見込まれるため、常に電線管理者等と緊密な調整・検討が必要と考えています。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		都市計画道路の整備			款	5	項	3	目	1	事業	10	整理番号	408	
担当部課名		都市整備部土木計画課			係名	街路整備係			連絡先電話番号	3435		昨年度整理番号	415		
(平成23年度担当部課名)		都市整備部建設課			予算事業区分			投資事業							
事業開始		平成	▼		2		年度		<input type="checkbox"/> 主要事業						
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 都市計画法第59条 (2) 道路法16条1項								
	都市計画道路利用者(車両運転者、沿道住民等すべてを含む)														
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○区民生活の利便性・安全性向上。 ○高齢者・障害者等だれにもやさしいみちづくり。 ○地域交通の円滑化。		活動指標名(式)		(1) 都市計画道路(区管理)バリアフリー整備延長(累計) (2) 都市計画道路(区施行)完成延長(累計)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○区が管理する都市計画道路についてバリアフリー化および無電柱化を進める。 ○未完成の都市計画道路のうち、区施行の優先整備路線について、事業化へ向けた検討を進める。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
				成果指標名(1)		都市計画道路(区管理)バリアフリー整備率									
				算定式・指標の説明等		整備延長÷整備対象延長×100									
				成果指標名(2)		都市計画道路(区施行)完成率									
				算定式・指標の説明等		完成延長÷計画延長×100									
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績				
指標	活動指標(1)		①	m	5,406	5,542	5,406	5,586	5,586	5,806	100.0				
	活動指標(2)		②	m	5,729	6,559	6,559	6,642	6,642	6,642	100.0				
	成果指標(1)		③	%	43.1	41.8	40.8	42.2	42.2	44.0	100.0				
	成果指標(2)		④	%	45.7	49.1	49.1	49.1	49.1	49.1	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	53,635	235,523	73,939	198,912	149,995	254,111	23年度予算執行率%		75.4		
	(内)投資的経費等		⑥	千円	53,635	235,523	73,939	198,912	149,995	254,111	特記事項 平成22年度から繰越しとなっていた特別区道第2123号路線の電線共同溝設置工事(北側)において、契約における落差金や各企業への移設補償の事業数量減などにより事業費に減額が生じたため、23年度予算執行率が低くなっています。				
	(内)委託費		⑦	千円	39,281	206,941	48,125	147,594	123,718	252,873					
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	2.71 0.00	3.17 0.00	3.12 0.00	3.55 0.00	2.09 0.00	2.90 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		⑨	千円	24,062	28,276	27,830	31,595	18,601					25,810
		(内)非常勤職員分		⑩	千円	0	0	0	0	0					0
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	77,697	263,799	101,769	230,507	168,596	279,921					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円	4,451	5,102	5,148	5,656	3,330	4,445					
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	900	0	0	1,890					2,750
		国からの補助金等		⑭	千円	12,100	35,800	3,850	13,750	53,350					44,000
都からの補助金等		⑮	千円	0	15,000	0	5,625	21,825	18,000						
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	12,100	51,700	3,850	19,375	77,065	64,750						
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	65,597	212,099	97,919	211,132	91,531	215,171						
受益者負担比率⑬÷⑪		⑳	%	0.0	0.3	0.0	0.0	1.1	1.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 408

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		高円寺駅前広場(Ⅲ期)・補助227号線概成区間整備工事	1	件	6,595
		電線類地中化事業の施行に伴う譲渡設備を活用した電線共同溝工事の委託に関する協定(特別区道第2123号線)	1	件	117,123
		特別区道第2123号線電線共同溝設置工事に伴う移設補償	4	件	26,060
		その他(電線類地中化事業の施行に伴う固定資産の譲渡(特別区道第2123号線)、事務用品の購入ほか)		件	217
	(2) 事業実績	平成22年度より繰越しました、高円寺駅前広場(Ⅲ期)・補助227号線概成区間整備工事と電線類地中化事業の施行に伴う譲渡設備を活用した電線共同溝工事(特別区道第2123号線 北側本体)については、ともに平成23年7月に完成しました。 また、特別区道第2123号線電線共同溝設置(南側本体)に伴う移設補償を、東京都水道局、東京ガス(株)、東京電力(株)、東日本電信電話(株)の4者に対し行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	補助131号線一期は平成18年度に整備が完了しました。 第三次事業化計画では、補助132号線の路線測量を行いました。 補助227号線概成区間のバリアフリー整備事業を進めています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区施行優先整備路線については、生活の利便性、安全性の向上に期待したり、計画区域内で住宅の建替えを検討しているなどの住民から、早期事業化を望む声がある。一方で、移転を余儀なくされる商店主、交通量の増加による環境悪化を懸念する周辺住民からは反対の意見も多くあがっています。			
	今後の予測	都市計画道路は、通行機能、環境保全機能、都市防災機能、空間機能などを担う都市基盤として必要な都市施設です。東日本大震災以降は、特に防災機能の重要性が浮き彫りになり、都市計画道路など広幅員の道路整備や高齢化社会に対応したバリアフリー化を図る必要性が高まっています。今後、住民の方々の理解と協力を得ながら事業を進めるために、区民の方々への情報提供と合意形成を図ることがさらに重要となります。			
	評価と課題	22年度より繰越した補助227号線概成区間のバリアフリー化工事も23年7月に完了しました。補助131号線一期は平成18年度に整備が完了し、二期概成区間についても23年度には電線共同溝設置(北側本体)が完了しました。南側についても電線共同溝設置に伴う支障移設を行いました。 今後も、地元の方々のご意見を十分お聴きしながら進めてまいります。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更		
	補助131号線二期概成区間の電線共同溝や補助227号線のバリアフリー化工事、さらに第三次事業化計画においても、住民説明会や広報板の設置など事業情報の提供を積極的に行うなど、地域の方々のご意見をよくお聴きし、事業を進めていきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		狭あい道路拡幅整備			款	5	項	3	目	1	事業	11	整理番号	409	
担当部課名		都市整備部土木管理課			係名	狭あい道路係			連絡先電話番号	3473			昨年度整理番号	416	
(平成23年度担当部課名)		都市整備部土木管理課			予算事業区分			投資事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	1	年度	<input type="checkbox"/> 主要事業									
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 建築基準法第42条第2項 (2) 杉並区狭あい道路拡幅整備条例及び施行規則						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	狭あい道路を4mに拡幅整備し、防災性の向上を図るとともに、円滑な通行を確保することにより、安全で快適なまちにしていきます。		活動指標名(式)		(1) 道路拡幅整備距離 (2) 道路拡幅整備件数									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○建築確認申請前の協議により、狭あい道路に接した敷地の後退区域を確定、道路拡幅の整備承諾を得たところについては、その区域内にある門、塀などの撤去に要する費用等に対し助成金や隅切り奨励金による支援を行い、区が道路の拡幅整備工事を行う。また、道路拡幅後に残された電柱のうち、緊急度の高い58本について、電柱設置者の協力を得て、平成25年度までに移設を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
成果指標名(1)		整備率		算定式・指標の説明等		整備延長距離÷〔42条2項道路総延長距離×2両側〕									
成果指標名(2)				算定式・指標の説明等											
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画		
指標	活動指標(1)	①	m	7,068	7,000	5,324	7,000	6,666	8,000	95.2					
	活動指標(2)	②	件	546	540	517	540	525	540	97.2					
	成果指標(1)	③	%	23.0	25.0	24.0	26.0	25.0	27.0	96.2					
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	470,222	479,500	434,202	508,582	478,318	516,929	23年度予算執行率% 94.0					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	470,222	479,500	434,202	508,582	478,318	516,929	特記事項 (成果指標の数値) (1)累計数値 総延長距離 332km 整備延長距離 169km $169\text{km} \div (332 \times 2) \times 100 = 25.45\%$					
	(内)委託費	⑦	千円	420,564	438,788	393,779	463,107	440,717	462,689						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	15.88 2.61	15.00 2.61	15.67 2.61	15.00 3.00	15.43 3.00	15.00 4.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	140,999	133,800	139,776	133,500	137,327			133,500			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	7,290	7,700	7,700	9,240	9,240			12,320			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	618,511	621,000	581,678	651,322	624,885	662,749						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	20,980	20,214	27,700	20,391	21,987	18,228						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0								
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0								
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0								
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0								
		特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯	⑰	千円	0	0	0	0	0			0			
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	618,511	621,000	581,678	651,322	624,885	662,749						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 409

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				狭あい道路拡幅整備工事(委託等)	525
		測量委託(委託等)	565	件	65,423
		拡幅整備助成	483	件	35,871
		協議書及び訂正起案データ入力(委託等)			1,365
		その他(事務費、通信運搬費ほか)			2,039
	(2) 事業実績	協議件数は、平成22年度に続き平成23年度も増加しました。協議件数は、878件で前年度比107件の増、また、助成金交付件数については、483件、助成金のうち、隅切り奨励金については110件となりました。また、道路拡幅整備距離の目標に対する達成率は95.2%となっています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	狭あい道路拡幅整備事業の事前協議申請件数は概ね緩やかな減少傾向でありましたが、平成21年度から増加に転じ、平成23年度は大幅増しました。近年、企業等の所有地が売却される傾向が見られ、敷地の細分化が進行しています。そのため、1件あたりの整備距離は僅かに減少してきています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	自主整備の場合、後退した部分に花壇等を設置する事例が一部にあり、道路管理上の苦情が寄せられています。また、協議申請は個々の敷地で行われるため、道路の反対側の協議申請の際に先の協議に対して中心線の扱いに関する問題が提起される事例が見受けられます。
	今後の予測	経済状況の変化により、協議件数は緩やかな減少傾向にありましたが、平成21年度に増加に転じ、平成22年度は微増で、平成23年度は大幅に増加しました。今後もしばらく増加傾向は続くと考えられます。
	評価と課題	狭あい道路を4mに拡幅整備し、防災性の向上を図るとともに、円滑な通行を確保することにより、安全で快適なまちを実現するため、事業を着実に進めてきました。一方、道路拡幅後に電柱が移設されないため、通行の妨げになっているケースが見受けられます。災害時に支障となる突出電柱のうち、緊急度が高い58本について、平成25年度までに区民や電柱の設置者の協力を得ながら移設を行い、安全で快適なまちづくりを進めます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	21年度から、稼動した道路台帳閲覧システムは、道路法上の道路に関する情報が入力されているが、今後、GISによるシステムの稼動に伴い、道路区域整備担当課でも有効かつ合理的に活用できるようにするとともに、狭あい協議台帳の電子化を行い、事業の効率化を図っていきます。 また、狭あい道路支障物対策として、道路拡幅後に残され災害時に支障となる突出電柱のうち、緊急度が高い58本について、平成25年度までに区民や電柱の設置者の協力を得ながら移設を行い、安全で快適なまちづくりを進めます。		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		道路掘さく復旧		款	5	項	3	目	1	事業	12	整理番号	410	
担当部課名		都市整備部土木管理課		係名	占用係			連絡先電話番号	3402			昨年度整理番号	417	
(平成23年度担当部課名)		都市整備部土木管理課						予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	年度										<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 道路占用工事の各企業者			根拠法令等	(1) 道路法第62条 (2) 杉並区特別区道道路占用規則第17条								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○道路を良好な状態に保つため、占用工事の道路復旧について監督・立会いを行い、監督事務費を徴収します。			活動指標名(式)	(1) 企業者の道路掘さく工事件数 (2) 企業者の道路掘さく復旧面積								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○道路の占用に関する掘さく工事の監督事務費の徴収、占用申請受付(占用係)、工事監督・竣工立会い(土木事務所)、監督事務費の清算(占用係)			成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
	成果指標名(1)	企業者の道路掘さく工事件数前年度比率			算定式・指標の説明等									
	成果指標名(2)	企業者の道路掘さく復旧面積前年度比率			算定式・指標の説明等									
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績			計画				
指標	活動指標(1)	① 件	3,864	4,000	4,259	4,000	3,444	4,000		86.1				
	活動指標(2)	② m ²	35,330	36,000	27,828	28,000	26,340	28,000		94.1				
	成果指標(1)	③ %	92.6	100.0	110.0	100.0	80.9	100.0		80.9				
	成果指標(2)	④ %	105.1	100.0	78.0	100.0	94.7	100.0		94.7				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	210	530	161	381	314	249		23年度予算執行率% 82.4				
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0		特記事項 事務費のうち、一般需用費の残により執行率が82.4%となりました。				
	(内)委託費	⑦ 千円	10	10	10	10	10	10						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	4,440	4,460	4,460	4,450	4,450	4,450					
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	4,650	4,990	4,621	4,831	4,764	4,699						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	1,203	1,248	1,085	1,208	1,383	1,175						
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	51,760	42,940	42,270	51,911	36,835	44,410					
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮ 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯ 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	51,760	42,940	42,270	51,911	36,835	44,410						
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱ 千円	▲ 47,110	▲ 37,950	▲ 37,649	▲ 47,080	▲ 32,071	▲ 39,711						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳ %	1,113.1	860.5	914.7	1,074.5	773.2	945.1							

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 410

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		道路掘さく復旧事務費			
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	電話、電気、ガス、上下水道の各企業の道路掘さく復旧について、道路管理システムによるオンライン申請を行っています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度より道路管理システムによるオンライン申請、監督事務費の算定が行われ、事務の効率化が大きく進展しました。また、企業の占用工事の復旧はすべて企業が行い、区の受託復旧工事は16年度から廃止しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	掘さく工事に伴う騒音・振動による苦情が寄せられることがあります。
	今後の予測	各企業がコストダウンを図ることなどの理由により、工事件数は横ばい若しくはゆるやかに減少していく傾向になると予測されます。
	評価と課題	老朽化したライフラインの更新に伴い、掘さく工事は必要不可欠です。工事を実施する企業との工期・工期等の調整業務を効率的に行います。

改善・見直しの方向 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
	II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
改善・見直しの方向 (中長期)	現行のシステムが順調に機能しているため、大きな改善の必要性はありません。 監督事務費については、毎年度見直して単価改定を行っています。	

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高円寺駅周辺整備		款	5	項	3	目	1	事業	14	整理番号	411	
担当部課名		都市整備部土木計画課		係名	街路整備係		連絡先電話番号		3435		昨年度整理番号	419		
(平成23年度担当部課名)				都市整備部建設課				予算事業区分		投資事業				
事業開始		平成	▼	17	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 道路法16条1項 (2) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○駅前広場としての機能の充実や、地域住民の交通の利便性と安全で快適な歩行空間の確保を図るため、駅前広場や周辺道路の整備を行い、まちの活力を向上させます。		活動指標名(式)		(1) 高円寺(北口・南口)駅前広場整備完成面積(累計) (2) 高円寺駅周辺整備完成面積(累計)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○地域住民の交通の利便性と安全で快適な歩行空間の確保を図るため駅前広場や周辺道路の整備を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
					成果指標名(1)		高円寺(北口・南口)駅前広場整備完成率							
				算定式・指標の説明等		完成面積÷計画面積×100								
				成果指標名(2)		高円寺駅周辺整備完成率								
				算定式・指標の説明等		完成面積÷計画面積×100								
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績			
指標	活動指標(1)		①	m ²	4,380	6,230	6,230	6,230	6,230			100.0		
	活動指標(2)		②	m ²	5,450	9,370	7,300	9,370	9,370			100.0		
	成果指標(1)		③	%	70.3	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0		
	成果指標(2)		④	%	58.2	100.0	77.9	100.0	100.0			100.0		
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	205,225	183,232	136,386	23,877	23,828			23年度予算執行率% 99.8		
	(内)投資的経費等		⑥	千円	205,176	183,232	136,386	23,877	23,828			特記事項 23年度は、22年度より繰越した「高円寺駅前広場(Ⅲ期)・補助227号線概成区間整備工事」の事業費であり、平成23年度をもって事業完了となりました。		
	(内)委託費		⑦	千円	205,176	183,142	136,370	23,877	23,828					
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	1.36 0.00	0.53 0.00	0.48 0.00	0.11 0.00	0.17 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		⑨	千円	12,075	4,728	4,282	979	1,513	0			
		(内)非常勤職員分		⑩	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	217,300	187,960	140,668	24,856	25,341	0				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円	2,768	759	687	157	243					
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	1,650	0	0				
		都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0				
		その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0				
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	1,650	0	0	0					
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	217,300	187,960	139,018	24,856	25,341	0					
受益者負担比率⑬÷⑪		⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 411

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		高円寺駅前広場(Ⅲ期)・補助227号線概成区間整備工事(都市計画道路の整備事業合併契約)	1	件	23,828
			件		
			件		
		その他 ()		0	
	(2) 事業実績	22年度占用企業者の先行工事、警視庁のパーキングメーター設置工事の遅れから23年度に繰越しました「高円寺駅前広場(Ⅲ期)・補助227号線概成区間整備工事」が竣工し、事業完了となりました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高円寺駅舎のバリアフリー対策の完了及びホテル建設が完了しオープンしました。座・高円寺(杉並芸術会館)が開館しました。高円寺駅前広場整備工事(Ⅰ期)で北口駅前広場が、高円寺駅前広場整備工事(Ⅱ期)で南口駅前広場が完成しました。高円寺駅前広場(Ⅲ期)・補助227号線概成区間整備工事で、北口と南口を結ぶ経路のバリアフリー化が完成し、事業完了しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	駅前広場について、商店や地域の活性化を図るため、高円寺をイメージする演出、水や緑による個性の創造、憩いの場やイベントが行える空間の整備などの要望が寄せられました。広場整備後の予期しないスケートボードなどによる不適切な利用について、改善を求める要望が届いています。
	今後の予測	
	評価と課題	JR高円寺駅前広場については、これまでの地元の意見・要望を踏まえ、交通管理者等関係機関との調整を図り、整備計画を策定し、平成20年10月から北口駅前広場の整備工事から着手、その後、北口駅前広場、南口駅前広場を整備し、平成23年7月に南北広場を結ぶ経路のバリアフリー化の完了をもって事業完了となりました。阿波踊りや大道芸などのイベントのまち高円寺にふさわしい地元で愛される駅前広場が完成しました。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	Ⅰ 事業の方向性	○ 拡 充	○ 現状維持	○ 縮 小	● 廃 止
		Ⅱ 事業の改善	○ 事業内容の変更	○ 実施方法の変更		
	平成23年7月に南北広場を結ぶ経路のバリアフリー化の完了をもって事業完了となりました。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 412

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		荻窪駅西口バリアフリー整備	1	件	128,396
				件	
				件	
		その他 (H22都補助金の返還)			42,237
	(2) 事業実績	西口バリアフリー整備は、JR東日本と協力し、平成23年6月に完成し、7月から供用を開始しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	JRの線路が高架ではない(地平駅)ため、駅南北方向における通行機能の不十分さや、商店街の分断化による回遊性の欠如及び狭小な駅前広場整備問題など、他のJR3駅と比べて都市の芯としての課題が多く、地元からの改善要望も強いものがあります。また、長年の懸案であった、北口駅前広場の整備が完了しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	南北自由通路の拡充や駅周辺の回遊性の向上を望まれています。
	今後の予測	誰もが安全で安心して行動できる、人にやさしいまちづくりの機運がさらに高まり、鉄道事業者による駅舎改良なども連動し、駅周辺機能の充実が図られ、南北の回遊性、バリアフリー化が推進していくと予想されます。
	評価と課題	荻窪駅周辺は、区内最大の交通ターミナルであり、商業サービスが集積した生活拠点にもかかわらず、他のJR3駅と比べて南北方向の通行機能の不十分さや商店街の分断化による回遊性の欠如などが、地域の課題となっています。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現 状 維 持	<input type="radio"/> 縮 小	<input checked="" type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
	西口バリアフリー整備事業について、平成23年6月に完成し、7月から供用を開始しました。これをもって、荻窪駅周辺整備事業は一区切りとします。 なお、荻窪駅周辺地区のまちづくりは、平成23年に設置された都市再生事業のなかで、新たな取り組みを始めています。また、駅のバリアフリー化は単独の事業として進めていきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		橋の維持補修		款	5	項	3	目	2	事業	1	整理番号	413	
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		係名	設計係		連絡先電話番号	3315-4178		昨年度整理番号	421			
(平成23年度担当部課名)		都市整備部杉並土木事務所		予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	3	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 地方自治法第281条2項 (2) 道路法第16条1項、42条					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○橋梁の日常点検等による補修や突発的な事故等に素早く対応して、利用者の安全確保及び日常の利便性向上を図ります。		活動指標名(式)		(1) 橋梁の塗装(m ²) (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○橋梁の高欄・桁など金属部分の塗り替え塗装を行う。 ○橋梁に関する維持補修工事を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
				成果指標名(1)		塗装計画に対する実施塗装面積の割合								
				算定式・指標の説明等		実績塗装面積÷計画塗装面積×100								
				成果指標名(2)										
				算定式・指標の説明等										
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	①	m ²	0	1,000	810	1,300	1,172	0	90.2				
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	%		100.0	81.0	100.0	90.2	0.0	90.2				
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	4,488	13,492	10,628	29,881	24,837	1,018	23年度予算執行率% 83.1				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	4,473	13,300	10,623	29,689	24,822	0	特記事項 予算執行率は設計差金・落札差金のため、維持補修工事の支出残によるものです。平成24年度計画は都河川事業に伴い平成25年度へ計画を延期したため指標数値がありません。				
	(内)委託費	⑦	千円	4,473	13,300	10,623	29,689	24,822	0					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.12 0.00	0.12 0.00	0.12 0.00	0.12 0.00	0.22 0.00	0.12 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	1,065	1,070	1,070	1,068	1,958				1,068	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0				0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	5,553	14,562	11,698	30,949	26,795	2,086					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円		1,262	1,327	969	1,683						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0	
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0				0	
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0				0	
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	5,553	14,562	11,698	30,949	26,795	2,086					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 413

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		橋梁塗装工事	8	橋	8,946
		京王井の頭線 跨線橋	1	橋	15,876
		その他 (光熱水費 ほか)			15
	(2) 事業実績	区道路橋116橋を計画的に橋梁塗装を行っています。平成23年度は、日向人道橋外7橋768㎡ 京王跨線橋 東陸橋404㎡を施工しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	橋梁は交通上、防災上重要な構造物で、良好な維持管理により耐用年数を延ばすことが可能です。車両の大型化や交通量の増大からも、健全性を保持するための維持補修の重要性は増しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	道路とのジョイント部分の段差による振動苦情や「幼児の頭が入ってしまい危険」等高欄の柵間隔に対する要望があります。
	今後の予測	橋の寿命の延命化には維持補修を計画的に行う必要があります。
	評価と課題	橋梁の継続的な維持保全に努めなければ安全性を著しく低下し、通行時に大きな支障になります。また、財政的にも一次的に多大な負担を強いられることとなるため適切な維持管理を計画的に行う必要があります。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	橋梁の塗装は、ウレタン樹脂から耐久性の高いフッ素樹脂に変更したことにより、塗装の耐用年数が7～8年から約15年に延命しました。今後も工法等を精査しながら、経費の縮減する工法へ転換し、橋梁の維持管理計画を進めていきます。又、橋梁塗装は、景観条例に則した色での塗替えを行っていきます。		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		橋梁の補強・改良		款	5	項	3	目	2	事業	2	整理番号	414	
担当部課名		都市整備部土木計画課		係名	施設整備係		連絡先電話番号		3428		昨年度整理番号	422		
(平成23年度担当部課名)				都市整備部建設課				予算事業区分		投資事業				
事業開始		昭和	▼	54	年度								<input type="checkbox"/> 主要事業	
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理		根拠 (1) 地方自治法第281条2項 等 (2) 道路法第16条1項						
杉並区道路管理橋梁の沿道居住者及び利用者等														
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)												
○災害時における避難路を確保するため、啓開道路等に架かる優先的整備が望まれる橋梁について、耐震補強等を行い、区民の安全性の向上や物資輸送路の確保を図ります。また、区道路橋全体の健全性を確保するため、定期点検の実施やそれら調査に基づく「橋梁維持管理総合計画」を策定し、橋梁全体の若返りを進めます。		(1) 耐震補強化整備橋梁数(累計)												
		(2) 拡幅改良化整備橋梁数(累計)												
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標						※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
○橋梁の耐震補強・拡幅改良整備や維持補修等を計画的に行う。		成果指標名(1)						耐震補強化橋梁整備率						
○東京都施行の河川整備に伴う橋梁架替については、設計照査や拡幅に伴う建設負担を行う。		算定式・指標の説明等						(耐震補強化整備橋梁数(累計) / 目標耐震補強化整備橋梁数(24橋)) × 100						
		成果指標名(2)						拡幅改良化橋梁整備率						
		算定式・指標の説明等						(拡幅改良化整備橋梁数(累計) / 目標拡幅改良化整備橋梁数(1橋)) × 100						
事務事業の概要														
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績			
指標	活動指標(1)	①	橋	23	24	24	24	24	24	24	25	100.0		
	活動指標(2)	②	橋	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0		
	成果指標(1)	③	%	95.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	104.0	100.0		
	成果指標(2)	④	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	49,273	26,350	20,982	4,548	1,931	18,156	23年度予算執行率% 42.5				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	49,239	26,194	20,949	4,444	1,827	18,000	特記事項 東京都施行の善福寺川整備に伴う区管理の橋梁の架替に関する設計照査が中止となったため、23年度予算執行率が低くなっています。				
	(内)委託費	⑦	千円	12,915	18,235	16,397	4,448	1,831	18,006					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.92 0.00	0.60 0.00	0.74 0.00	0.30 0.00	0.32 0.00	1.10 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	8,169	5,352	6,601	2,670	2,848					9,790
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	57,442	31,702	27,583	7,218	4,779	27,946					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	356,652	229,500	276,417	115,583	123,000	397,840					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	57,442	31,702	27,583	7,218	4,779	27,946					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 414

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		寺前橋耐震補強(落橋防止システム)設計委託	1	件	1,827
		その他(需用費 ほか)			104
	(2) 事業実績	平成24年度に耐震補強工事を予定している妙正寺川に架かる寺前橋について落橋防止システムなど耐震補強に関する設計委託を実施しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区管理の橋梁は、高度成長期の1960年から1970年代に東京都施行の河川整備により架け替えられた橋梁が全体の約8割と多く、これまで計画的な補強・改良や塗装などの維持補修は行ってきましたが、少しずつ老朽化は進んでいます。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	阪神淡路大震災や東日本大震災等の大地震が発生した後は、橋梁の震災対策の強化が社会的要請となっています。 近年、橋梁については劣化や老朽化による損傷の事例が全国的に多数報告されています。
	今後の予測	高度成長期に建設された橋梁が多いことから、今後は老朽化が急激に進み架け替え時期が集中することが予想され、架け替えにかかる費用の増大が懸念されます。
	評価と課題	これまで、河川整備に伴う橋梁の架替を東京都と連携して実施してきました。また、橋梁整備計画に基づき計画的に耐震補強工事を実施し、その前期目標である24橋について耐震化を完了しています。今後も、河川整備に合わせた橋梁の架替を都と連携して取り組むとともに、区管理の橋梁について、20年度に実施した点検調査の結果を踏まえ定めた新たな維持管理計画を策定し、計画的かつ効率的な橋梁の管理に取り組んでまいります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更		
		今後は橋梁の老朽化が急激に進み架け替え時期が集中することが予想されていることから、これまでの事後保全的な管理から脱却し、橋梁の長寿命化対策として、予防保全的な管理を中長期的な視点で計画的に進める必要があります。あわせて震災対策としての計画的な耐震補強工事を実施する事で事業の効率化を図って行く必要があると考えます。				

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 415

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		河川環境保全委託			
		河川維持工事			28,956
		河川樹木剪定委託			15,424
		転落防止柵塗装工事	941	m ²	4,269
		その他（修繕費、設計等事務費 ほか）			3,953
	(2) 事業実績	河川・河川管理用通路の清掃・除草、及び、河川管理用通路の舗装の補修・樹木の剪定を行っています。河川の藻については根から刈らないなど環境に配慮して行っています。転落防止柵塗装は、神田川・善福寺川にある鉄製の防護柵を計画的に施工しています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初都市河川は、水害の軽減を第一の目的として整備を行ってきました。しかし、近年では都市内に残された貴重な歩行空間としての需要が高まり、住民の関心は防災に加えて景観も重視する傾向にあります。
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	河川管理用通路の舗装補修や護岸除草、樹木の補植、臭気対策の要望などが寄せられています。
	今後の予測	今後も都市河川は治水の役割はもとより、憩いの水辺環境としての役割を担っていきます。
	評価と課題	近年、河川を取り巻く状況は大きく変化しています。憩いの水辺空間は多様な生物の生息・生育環境、地域の風土と文化を形成する重要なまちの要素として見直されつつあります。当事業は、このような河川環境を保全する上で重要な役割を担っています。又、河川管理用通路の一部では地域のボランティア活動で花壇管理も行っています。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	○ 実施方法の変更		
		河川管理用通路の除草に関しては、草を刈り込む除草から抜根の工法に変更し除草の回数を減らすなど取り組んでいます。今後とも、河川環境をよりよいものに保全することはもとより、作業の内容を精査しながら経費を削減する工法への転換を行っていきます。又、転落防止柵塗装は、景観条例に則した色での塗り替えを行っていきます。				

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		水辺環境の整備			款	5	項	3	目	3	事業	2	整理番号	416	
担当部課名		都市整備部土木計画課			係名	施設整備係			連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	424		
(平成23年度担当部課名)		都市整備部建設課			予算事業区分			投資事業							
事業開始		平成	▼	13	年度			<input type="checkbox"/> 主要事業							
事務事業の概要	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠 (1) 地方自治法第281条2項										
	区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)沿川の居住者及び利用者等				等 (2) 河川法第16条の2										
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標名(式)										
	○都市化の進展により失われつつある良好な水辺空間を取り戻すため、人と水とのふれあいの場づくりや老朽化した護岸補修や河床保護等の整備を進め、河川環境の充実を図ります。また、多様な動植物が生息・生育・繁殖できる潤いと安らぎのある水辺環境を再生・創出ことを目的として、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に区民と協働して取り組みます。				(1) 護岸緑化整備延長(累計) (2)										
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標											
○潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図るため、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に係る行動計画の検討を行い、計画的に事業を進める。 ○東京都が実施している河川整備において、協議や調整等を図りながら自然環境や景観に配慮した整備を連携して進める。				成果指標名(1) 護岸緑化整備率											
				算定式・指標の説明等 平成13年度からの累計整備延長÷平成13～22年度までの累計整備延長目標値×100											
				成果指標名(2) みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合											
				算定式・指標の説明等 区民意向調査による											
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績				
指標	活動指標(1)		①	m	1,203	1,514	1,203	1,514	1,203	1,514	79.5				
	活動指標(2)		②												
	成果指標(1)		③	%	79.5	100.0	79.5	100.0	80.0	100.0	80.0				
	成果指標(2)		④	%	69.0	70.0	71.2	71.0	71.7	72.0	101.0				
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	10,045	5,555	3,989	2,402	2,343	1,986	23年度予算執行率%		97.5		
	(内)投資的経費等		⑥	千円	9,533	4,750	3,491	1,750	1,699	1,235	特記事項				
	(内)委託費		⑦	千円	9,538	4,755	3,491	1,755	1,704	1,240					
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	2.46 0.00	2.40 0.00	2.29 0.00	1.50 0.00	1.58 0.00	1.20 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		⑨	千円	21,842	21,408	20,427	13,350	14,062					10,680
		(内)非常勤職員分		⑩	千円	0	0	0	0	0					0
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	31,887	26,963	24,416	15,752	16,405	12,666					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円	18,582	14,672	17,394	9,248	12,224	7,550					
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0	0	0					0
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0	0	0					0
		都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0					0
		その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0					0
		特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0					0
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	31,887	26,963	24,416	15,752	16,405	12,666						
受益者負担比率⑬÷⑪		⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 416

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		水鳥の棲む水辺創出行動計画検討等委託	1	件	1,449
		水鳥一斉調査と善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムに関する謝礼金	2	件	143
		その他（需用費 ほか）			751
	(2) 事業実績	<p>善福寺川で見られる鳥の生息状況を把握するため区民参加による水鳥一斉調査を実施しました。事業の周知と区民意見を把握するためシンポジウムや郷土博物館分館との共催によるパネル展示会を開催しました。</p> <p>平成24年度の策定に向け善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動計画の検討を行いました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>親水性のある散歩道整備等を目的として立ち上げられた事業ですが、現在、区では河川などの大規模な改修は少なく、河川をより身近なものとして感じられる施設(キロポスト整備・流域案内板設置・河川緑化等)の整備や日常の維持管理に付随する経年劣化に伴う護岸補修や河床保護等を進めています。</p>
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>河川は治水・利水の役割だけでなく、貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えるとともに、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境を形成するものとして、その役割は大きく見直されつつあります。</p> <p>豊かな自然資源である水とみどりを大切にしたいとする区民意識の高揚を考慮しつつ、水辺を取り巻く良好な環境づくりを積極的に推進することが期待されています。</p>
	今後の予測	<p>水辺は貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えるとともに、まちの景観形成や余暇の有効活用等において、重量な役割を果たしています。特に近年では、まちづくりの観点から周辺の公共施設を取り込んだ一体的な水辺環境整備が社会的要請となりつつあります。</p>
	評価と課題	<p>安全な河川環境を維持するため護岸改修や河床保護を進めてきました。区内の3河川は区民の貴重な財産と考えますので、都と連携した河川整備を進めながら安全で魅力的な水辺環境をつくってまいります。さらに、善福寺川において潤いと安らぎのある水辺空間の再生・創出を図るため、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に区民とともに取り組んでまいります。</p>

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	<p>区の既定事業(河川整備計画・まちづくり計画等)と一体的に水辺空間の整備を図ることが社会的要請となりつつあります。これからの実現に向け、地域住民を巻き込んだソフト事業を継続的に展開するとともに、東京都をはじめとした関係機関の事業との連携による、水辺環境再生を視野にいれたハード事業の実現について検討・調整が必要と考えます。</p> <p>また、近い将来訪れる護岸や親水施設等の老朽化による維持管理コスト増を抑えるため、これらの延命化対策についても研究・検討を行う必要があると考えます。</p>		

特記事項	
------	--